

▼10月13日
被災地の夫婦がコンサート



郡山市で活動する夫婦のフォーク・デュオ「IN THE WIND」は、松前中学校でコンサートを開きました。二人は、東日本大震災後の支援への感謝と被災地の現状を伝えるために全国に歌声を届けています。今回は、思いやることの大切さを歌にした「手をぎゅっと!!」など5曲を披露。コンサート後、生徒会長の行徳みさきさんは、「被災地支援を続けていきます。素敵な時間をありがとうございました」と感謝を述べました。

▼10月2日
水辺をきれいに



ふるさとの水辺清掃ウォークは、長尾谷川で行われ、近所の皆さんなど約150人が、川の中と周辺の清掃を行いました。これは、『身の回りの環境は自分たちで守っていく』という思いで毎年実施しているもの。参加者は上流から下流まで4つのエリアに分かれて作業を開始。たばこの吸い殻などの小さなごみから、自転車や家電製品などの大きなごみまで、2時間の活動で約6トンのごみを拾いました。

▼9月26日
稲刈りにチャレンジ



渡部寛さん＝徳丸＝の水田で、青葉幼稚園の園児が、収穫期を迎えた米を刈り取りました。この試みは毎年徳丸農業区と幼稚園が協力していて、今年で5年目。稲は6月に園児たちが植えたもので、園児たちは何度も田を訪れ、米の成長を見守ってきました。刈取りを始めると園児たちは「自分です！」と積極的に作業。満3歳から5歳までの園児約90人で、たくさんの米を収穫しました。

▼9月21日
中学生が命の大切さを学ぶ



犯罪被害者の現状や命の大切さを考える「命の授業 in 松前町」は、松前総合文化センターで開催され、町内の中学生らが参加しました。遺族の手記やDVDを見た中学生たちは、「もし自分がそうになったら」と考えることにより、命の大切さを学びました。また、世界的に活躍しているハープ奏者古佐小基史氏、オーボエ奏者ポールマッキヤンドレス氏による特別コンサートも行われ、普段の授業とは違う雰囲気の中で学んでいました。

▼10月14日
わっしょい わっしょい



10月13日から15日までの秋祭りの期間中、町内の各保育所や幼稚園で、おみこしパレードが行われました。このうち松前保育所の園児たちは、手作りのおみこしを担いで義農神社へ行って参拝した後、「わっしょい、わっしょい」と掛け声を出しながら、元気いっぱい周辺を練り歩きました。近所の人々は、かわいい子どもたちの姿に盛んに拍手を送っていました。

▼10月12日
待望の収穫



岡田小学校の5年生107人が、学校付近の田んぼで育ててきた稲を収穫しました。児童の多くはかまを手にするのが初めてで、地域の人から指導を受けながら作業に挑みました。この稲は、田植えから水の管理、除草作業なども児童らで行ってきたもの。高橋風奈ちゃんは「手で刈るのは大変だったけど、1年かけて自分たちで育てたお米だから収穫できてうれしい」と話していました。

▼9月27日
元気はつらつ 老人クラブスポーツ大会



松前町老人クラブ連合会主催のスポーツ大会は、松前公園で行われ、各地区の老人クラブ会員約200人が集まりました。開会式では、重川源老人クラブ連合会長が「交流しながら、元気いっぱいプレーしましょう」とあいさつ。参加者らは、輪投げやグラウンドゴルフの種目に取り組み、和やかに真剣勝負をしながら、地区を越えて交流を深めていました。

▼9月23日
「きな子」と一緒に交通安全を



「第3回おたたさんで交通安全茶屋」は、エミフルMASAKIで行われ、丸亀警察犬訓練所から警察犬『きな子』が1日松前町交通安全推進協議会長『無事故だ！ワン長』として応援に駆けつけました。松前町婦人会や交通安全指導員の皆さんによるおたたさん姿での交通安全グッズ配布や、白バイやパトカーの試乗会なども行われ、集まった買い物客らは交通安全への意識を高めていました。